

会 議 録

1 会議名

平成27年度第8回直江津区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

【自主的審議事項】

直江津まちづくり構想について（公開）

3 開催日時

平成27年9月16日（水）午後6時00分から午後7時27分まで

4 開催場所

上越市レインボーセンター 第二会議室

5 傍聴人の数

0人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く。）氏名（敬称略）

- ・委員： 増田和昭（会長）、青山恭造（副会長）、竹内明美（副会長）、
池田伸吾、伊藤邦雄、今井不二子、佐藤光司、田村利男、田村雅春、
冨塚 毅、福島 弘、丸山朝安、三上正子（欠席4名）
- ・事務局： 北部まちづくりセンター：関川センター長、荒木係長、星野主任

8 発言の内容

【関川センター長】

- ・会議の開会を宣言
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告

【増田会長】

- ・挨拶
- ・会議録の確認：池田委員、伊藤委員に依頼

議題【自主的審議事項】直江津まちづくり構想について、事務局へ説明を求める。

【荒木係長】

- ・資料「新水族博物館を活用した直江津のまちづくり構想の検討について（地域を元気にするために必要な事業提案に向けて）」

「新水族博物館を活用した直江津のまちづくりを話し合う会 意見集約表」に基づき説明

【増田会長】

9月25日（金）の住民団体との意見交換会の進め方について意見等を求める。

（意見なし）

では、当日は午後6時までに集合し最終確認を行うこととする。

次に、今後の自主的審議の進め方について意見等を求める。

【青山副会長】

意見集約表に、例えば「春日山山頂へ大型バスが入りやすいよう整備する」とあるが、直江津区以外に出された意見はどのように取り扱うのか。

【荒木係長】

最終的に直江津の活性化に関することであれば良いと思っている。

【増田会長】

今回は、住民団体の活動の中でいろいろなことを把握している方々に出席してもらうので、目的から外れた意見は出ないと思うが、出される意見は全て聞くこととしたい。

【田村雅春委員】

グループでの検討は、一つのテーマに絞って話し合いをすればいいのか。話し合いの進め方を確認したい。

【増田会長】

配付する意見集約表は取組案として示すだけである。私たちの当面の目標は来年度予算に向け検討することである。来年度に関係のないものは、後々検討することとし、まずは、10月末までに、「来年度は何をしたらいいのか、その為にいくら予算を付けたらいいのか」ということを集中的に判断していただきたい。優先的に取り組むことは相当絞られると思っている。例えば意見集約表の中で、渋滞対策など直ぐに取り組むことが出来ないことを除くと、「公衆トイレの設置」は、水族館が出来る・出来ないに関わらず、直ぐに取り組むべきことだと思う。班毎に検討を進めていくが、班ごとに同じ取組テーマであっても、やり方が違ったり、目線が違ったりするのでよいと思う。どのように進めるか意見を伺いたい。

【田村利男委員】

意見集約表に、「交通量と渋滞の関係、特にイトーヨーカ堂前の信号機について」の意見があるが、これは、3・4日前に変わったのではないか。イトーヨーカ堂前に押しボタン式の信号機の両サイドに「交通渋滞を緩和するため、待ち時間が長くなります」と書いてあったと思う。どのように変わったかは調べておいてほしい。

【荒木係長】

承知した。

【田村雅春委員】

関連ではないが、会長が言われているのは、行政に対する予算の問題である。併せて、バス会社やJRやトキメキ鉄道会社などの公共交通機関に、直江津駅に降りてもらい、直江津の商店街を回遊して水族館へ行くようなシステムを作っていただけるよう、上越市を通じて要望書を出すことは出来ないか。そういうことも取り上げてほしい。

【増田会長】

第一に地域を元気にするために必要な事業提案に向けての検討を優先したい。田村雅春委員が言われたことは、検討が一段落したら次に進めることとしたい。

他に意見等はあるか。

【池田委員】

検討の進め方は、4つのテーマ毎にグループに分かれて行うのか、それとも、テーマを決めずに行うのか。

【増田会長】

どちらでも良い。まずは優先的に取り組むことを検討していただきたい。結果としてみんな同じテーマになったとしても、差し支えない。例えば、みんな「看板を整備する」となった場合、A班は「トイレの案内看板を中心に」、B班は「港まで行く案内看板」、C班は「名所、旧跡の案内看板」等、視点が違う大勢の目で見て考えれば、漏れの無い、良い物が出来るだろうと思っている。案内看板を作るのであれば、現地視察をしないと分からないことがあるので、班毎に日を決めて、町を歩いてもらい、問題点等があったら指摘していただきたい。

【今井委員】

9月25日（金）に協議するのはいいが、7月に2回開催した意見交換会で出た意見と25日に出た意見を集約して、また班毎に協議するということか。

【荒木係長】

新たに出された意見を追加し集約表をまとめたいと思っている。

【増田会長】

25日に出てきた意見は、集約表に新たに追加していけばいいので、グループ毎には、25日の意見の結果は待たないで検討してほしい。それと、商業・中心市街地活性化推進室が現在行っている地域活性化検討会の取組内容は、どこかの段階で情報共有するが、とりあえず私たちは私たちの考えで検討したいと思っている。

【田村雅春委員】

スケジュールの確認だが、提案する内容は、地域協議会である程度分別して決めるのか。

【増田会長】

そうである。

【田村雅春委員】

10月中に間に合うように行うのか。月1回の開催だけで結論を出すのか。

【増田会長】

10月は協議会を3回開催する予定なので、10月末に地域協議会としての方向性を取りまとめる。

意見集約表にない意見があればグループ毎にどんどん入れていただいて結構である。例えば、直江津のおもてなしの顔として直江津駅前商店街をどうするのかなど、自由にを入れていただいて結構である。

【荒木係長】

意見集約表から選んで検討するのではなく、意見を追加していただいて構わない。

【今井委員】

先ほど会長が「9月25日の結果を待たない」と言われていたが、25日に出る住民団体の意見も聞いて、意見集約表に追加した中で班毎に考えたほうが良いのではないか。

【増田会長】

今井委員の考えはよく分かるが、7月に開催した意見交換で出た意見は多数あるので、現在の集約表を参考に検討を進めてよいと思う。基本的な考えは、25日の結果を待つからスタートしようという考えではなく、班毎に日程調整して進めていただきたい。

【田村雅春委員】

25日を待たないで検討するとのことだが、25日来られた方々の意見が後回しになることがおかしいのではないか。

【増田会長】

25日に意見が出てきた時に、追加の意見として事務局でまとめる。まとめた意見をそれぞれのグループに配るので、もらった意見の中で「これは参考になる」というものは取り入れるということである。

【田村雅春委員】

そうすると25日を待ったほうがいいのではないか。

【増田会長】

どうしても待たなければいけない理由はない。

日程調整が難しいから25日以降にやろうと考えても構わないが、25日の意見を待たなくても、自分たちで一生懸命考えて進めてほしいということである。

【今井委員】

では、25日に来る方たちは「自分たちは何のために来ているのか」となる。

【増田会長】

25日の方たちも、これと同じような意見が出ると想定している。

【今井委員】

それは分からない。

【増田会長】

その辺の理解が難しければ、その班は25日過ぎてからスタートしていただければよい。

【荒木係長】

会長が先に進めたい理由は、検討の期限が決まっており、時間がないので、先に検討できる課題は進めていただき、住民団体との意見交換が終わったら、その中で出された参考になる意見も取り入れてやっていただきたいということである。

【佐藤委員】

期限が決まっているから、それまでに集約してやらなければいけない。25日を待たず、予算に関係したものについては、ある程度次の段階へ進める。その後に残ったものを検討するということだと思う。

【増田会長】

そのとおりである。

【今井委員】

25日に来た方々の意見を聞いて、その中で取り入れられるものがあつたら、追加して意見集約表の中に入れようという考えでよいか。

【伊藤委員】

そうである。

【今井委員】

承知した。

【田村雅春委員】

会議の主題が「25日に来られる方も、自由に意見を言い、取り入れることは取り入れる」という説明が最初がないから、分かりづらかった。

【増田会長】

田村雅春委員の言うとおりである。

【池田委員】

班分け名簿の案が配られているが、これは25日だけの班なのか。それとも、これからずっとこの班で作業等を進めて行くのか。

【増田会長】

この班は、一定の結論が出るまで、その班で進めていただきたい。最後に、全ての意見を集約し、皆さんで話し合いをして、直江津区地域協議会として提案すべきことを決めたいと考えている。

【田村雅春委員】

再度スケジュール確認をしたいが、行動する日にちが班毎に違ってくると思うが、全体で話し合いをするのが10月末なのか。

それと、各班の招集はどこがやるのか。4人中、最低何人集まれば開催できるのか。会場等はどうしたらいいのか。

【増田会長】

会場調整は事務局にお願いする。班毎の招集は班長を中心に決めていただきたい。

基本的に、4人の班なので、出来れば4人全員集まれる日にやっていただきたいが、どうしても4人集まれる日がないということであれば、その班は集まれる方たちだけで開催するしかないと思っている。

【青山副会長】

スケジュールをもう少し整理していただきたい。

【増田会長】

10月上旬の協議会の際、班毎で集まり、班毎の行動計画を調整し、どういうことを中心にやりたいか決めてもらう。それ以降は、班毎に検討いただき、10月中旬くらいに協議会を開催し、全体で班毎の進捗状況を確認・情報交換し、協議会としての考えをまとめたいと考えている。

協議会日程は、皆さんにお諮りして決める。その中で必要に応じて班毎で話し合いをしたり、現地に行ったりすることは班毎で決めていただきたい。

【池田委員】

4班は多くないか。班毎に話し合いや現地視察するのはいいが、私の班は今日も2名欠席である。出席率が悪ければその班にいる方たちは、ものすごい責任を負わなければいけなくなる。

【増田会長】

地域協議会委員として責任を持つということは当然のことである。そのために班毎で行動する時は、皆さんの都合を聞き、なるべく全員が揃う時にやっていただきたい。

【青山副会長】

28年度に取り組むべき提案と、それ以外の提案を分けていただきたい。

【田村雅春委員】

出来たら、正・副会長で取組の期間を色分けしていただきたい。

【増田会長】

大雑把で良ければ出来る。

【田村雅春委員】

10月上旬の協議会までに、正・副会長で事務局と相談しながら色分けしていただくと効率的で気持ち的にも楽になる。

【増田会長】

今の意見の確認であるが、取組の期間を区分けするのに非常に時間が掛かるので、出来たら大雑把でいいから、事務局と正・副会長で対応してほしいということか。

【田村雅春委員】

賛成である。

【伊藤委員】

事務局と正・副会長で話し合い、たたき台を作っていただきたい。

【増田会長】

承知した。

【今井委員】

事務局へ質問だが、現段階でどれくらいの団体から申し込みがあるのか。

【荒木係長】

8団体で16名である。

【増田会長】

今の段階では、8名ずつの班になり、4名ずつ委員の皆さんから入っていただく。委員の皆さんは、団体の皆さんがどういうことを考えているか、じっくり聞いていただきたい。

【田村雅春委員】

8団体16名ということは、2名の団体や3名の団体があると思う。それはみんなバラバラに割り振られるのか。

【荒木係長】

そうである。

【今井委員】

事務局へ聞きたいのだが、25日に意見交換会の際、初めて来る方たちが多数いると思うので、会の冒頭に会の進め方について説明されると思う。来た方たちの意見を最優先にしたいので、委員が長々と説明しなくてもいいよう、事務局で分かりやすく説明していただきたい。

【増田会長】

進め方は何回も説明しているが、長く演説をする人は抑えていただきたい。委員も同様である。

本件はこれで終了とする。

その他について、事務局へ説明を求める。

【荒木係長】

・次回協議会について、事務局案：10月7日（水）でいいか、協議するよう依頼

【増田会長】

先ほどから10月は3回開催することとしているので、全ての日程を決めたいと思う。

— 日程調整 —

では、日程は10月7日（水）、10月21日（水）、10月28日（水）、時間は全て午後6時からで開催したいと思う。

【田村雅春委員】

直江津学びの交流館の第2駐車場が廃止されると新聞に載っていた。それはどういうことか。

【荒木係長】

一番の理由は、3月に北陸新幹線が開業し、駅南の駐車場に空きが出てきたので、その場所が利用出来るということである。

【田村雅春委員】

レインボーセンターは、今までどこを利用されていたのか。

【関川センター長】

今まで第2駐車場の場所を市が貸主に委託料を払い、31台分借りていた。

レインボーセンターも満車になったら使わせてもらうが、統計では満車になる時が少なかったようである。

【田村雅春委員】

土日で混んでいる時に来て、駐車場の係員に「すぐには空かない」と言われると、今までの第2駐車場に止めたいと思ってしまう。線路を渡って止めようとは思わない。

【増田会長】

距離的に、駅南のほうが近いという話を聞いた。

【池田委員】

図書館をよく利用するが、重たい本を持って移動するのは苦痛である。一旦、2階のロッカーに置いて、車を入口付近に駐車すればいいとも言っているが、一旦駐車するスペースも明示されていない。

それと、レインボーセンターをよく利用する団体を知っているが、満車になっていたのも、空いているスペースに駐車したら、他の車が出る時に大変だったという話を聞いたことがある。第2駐車場が使えないということになると、レインボーセンターも直江津学びの交流館も利用者が大変になると思う。レインボーセンターが満車だったら「船見公園の駐車場を利用してください」という話だが、その団体自体に参加する人も少な

くなってしまうのではないかと危惧している。

直江津学びの交流館に図書館を持ってきたということで、地域協議会でも、駐車場について、再三、問題視していた。少し時間を置けば駅南の駐車場が空いているからと、簡単に第2駐車場を閉鎖してしまうという判断をしているのではないか。理由は何も書かれないで広報上越に載っていたので、非常に良くないと感じている。もっと利用者や直江津区地域協議会に説明してから話を進めていただきたかった。

【田村雅春委員】

同感である。ある方から直江津学びの交流館の駐車場が閉鎖になると聞いたので、経緯を知りたかった。こういうことは地域協議会を通さないのか。

【増田会長】

駐車場の件は、地域協議会への諮問事項ではない。諮問事項ではないが、私たちは、駐車場問題について何度も説明を受けている。こういう経緯があるということは、地域協議会に報告があつて然るべきだと思っている。確かに、駅南の駐車場まで歩く距離は短い、車だとぐるっと廻らなければいけない。そして、レインボーセンターが満車になっていたらどうするのか。本件は、直江津まちづくり構想の中の問題に入るの、案件として取り上げ、どうしたらいいのか考える。自主的審議の検討内容によっては、直江津学びの交流館とも調整が必要になると思う。

もう一つ報告であるが、公の施設の減免制度について、地域協議会に説明すると言われているが、いろいろ意見が出て減免基準が決められないようである。来年3月まで時間を掛け、減免基準を決めるとのこと。当初、10月1日から最大、50%の値上げというものもあったが、これは来年4月まで延期すること。今年度の値上げはなくなったので、御承知置きいただきたい。これも本来は、当然行政改革推進課から報告があるものだと思っている。

【田村雅春委員】

減免団体の基準も決まっていないのか。

【増田会長】

行政改革推進課では減免基準を決めようと今までやってきたが、いろいろな団体から厳しすぎるのではないかという意見が上がってきたようである。

【伊藤委員】

減免の話は、この間、市民プラザで説明会があった。10月1日から上がるものと、

3月に上がるものと分かれているようである。ちなみに五智歴史の里会館の施設使用料は10月1日から値上げされる。

【荒木係長】

施設使用料の値上げと減免基準の話は別である。

【関川センター長】

施設使用料は10月1日から上がるが、減免に関しては、調整することがいろいろあるということで、来年の4月に延期されたということである。調整がついた段階で地域協議会に報告がある。

どの団体を減免対象にするかということもあるし、地域によっては、迷惑施設と引き換えに建てられたという経緯があり、その地域の方々には減免があってもいいのではないかなという意見も出て、それをどうするかという調整もしており、時間が掛かっているようである。

【福島委員】

施設の電気使用料を上げるという話があったが、それも10月1日から上がるということか。

【荒木係長】

そうである。

【増田会長】

その辺の経緯説明がないから、情報が混乱している。報告すべきことは報告していただきたいと、行政改革推進課に伝えていただきたい。

【荒木係長】

承知した。

【増田会長】

- ・会議の閉会を宣言

9 問合せ先

自治・市民環境部 自治・地域振興課 北部まちづくりセンター

TEL : 025-531-1337

E-mail : hokubu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。